

# 創設者「野口 遵」について

## 略 歴

- 明治 6 年 1873 7月26日金沢市で生まれる。
  - 明治29年 1896 東京帝国大学電気工学科を卒業。郡山電燈の技師長として赴任。
  - 明治31年 1898 シーメンスの東京支社に入社。この間カーバイドの研究を続ける。
  - 明治36年 1903 三居沢(仙台市)で我が国最初のカーバイドを生産。
  - 明治39年 1906 曾木電気を創立。鹿児島県の曾木滝を利用して水力発電を起こす。
  - 明治41年 1908 日本カーバイド商會を設立し水俣に工場を建設。曾木電気、日本カーバイド商會を合併して社名を日本窒素肥料(現JNC株式会社)と改称し、石灰窒素、硫安の製造を開始。
  - 大正10年 1921 カザレー(伊)のアンモニア合成の特許を買収して延岡に世界最初のカザレー式アンモニア合成工場を建設。
  - 大正11年 1922 旭絹織(現旭化成株式会社)を設立。
  - 大正12年 1923 延岡工場を新設、硫安を生産。
  - 大正13年 1924 朝鮮への進出を決定。
  - 大正14年 1925 北朝鮮赴戦江で水力発電の開発(20万kW)に着手。続いて長津江(33万kW)、虚川江(34万kW)を完成、鴨緑江本流には水豊発電所(70万kW)を建設。
  - 昭和 4 年 1929 ドイツ・ベンベルグ人絹の特許をもとに日本ベンベルグ絹織を設立。
  - 昭和16年 1941 全財産3,000万円を寄附し、2,500万円 で野口研究所を設立。500万円を朝鮮奨学会に寄附。
  - 昭和17年 1942 勲一等瑞宝章を受章。
  - 昭和19年 1944 1月15日逝去。享年72歳。
- 野口遵の事業は、旭化成株式会社、JNC株式会社、積水化学工業株式会社等に引き継がれています。



# 野口研究所とは?

公益財団法人野口研究所は1941年に、旧日窒コンツェルンの創始者故野口遵が私財を投じて設立しました。設立趣旨は「化学工業の振興を期するため、諸般の研究並びに調査を行うとともに広く重要な研究に対し援助をなし、なお研究者の養成、発明・考案の工業化にも力を注ぐ…」となっています。この精神を尊重しつつ、現在の社会ニーズにこたえるような基礎的研究、研究助成および人材育成を目的として事業を進めています。現在は、糖質科学領域を中心とした研究を行っています。

- |          |             |  |
|----------|-------------|--|
| 野口研究所の歩み | 昭和16年 1941  | 日本窒素肥料株式会社社長 野口遵が、私財2,500万円を拠出して設立。文部大臣より民法第34条に基づき財団法人設立の許可を受ける。設立年月日 昭和16年2月10日。研究所を横浜、延岡、興南に開設。 |
|          | 昭和21年 1946  | 各研究所を東京板橋(現在地)に移転。   |
|          | 昭和23年 1948  | 維持会制度を設ける。調査部を東京神田に新設(主として水力資源と森林資源の活用に関する調査を行い昭和30年まで継続)。   |
|          | 昭和31年 1956  | 基本財産拡充のため募金(83社より約3億円の賛助を受ける)。   |
|          | 昭和37年 1962  | 野口情報センターを開設。   |
|          | 昭和44年 1969  | 同情報センターを調査部として発展改組。  |
|          | 昭和60年 1985  | 投資有価証券のうち株式を処分し、国債・地方債・金融債・貸付信託等に転換、基本財産および通常財産の拡充を図る。   |
|          | 平成 3 年 1991 | 創立50周年。  |
|          | 平成 6 年 1994 | 調査部を廃止し、調査事業を縮小。   |
|          | 平成21年 2009  | 野口遵研究助成金制度発足。  |
|          | 平成22年 2010  | 公益法人に移行し、11月1日付で「公益財団法人野口研究所」に名称変更。  |
|          | 令和元年 2019   | 野口遵研究助成金10周年記念講演会を開催。  |
|          | 令和 3 年 2021 | 創立80周年。  |

## 野口 遵 Shitagau Noguchi 研究助成金の募集

# 2024

お問い合わせは  
こちらまで

〒173-0003 東京都板橋区加賀1丁目9番7号  
公益財団法人野口研究所 野口遵研究助成金 事務局  
TEL 03-3961-3255 e-mail josei@noguchi.or.jp

 公益財団法人野口研究所

URL <https://www.noguchi.or.jp>

2024年度(令和6年度)

# 野口遵研究助成金応募要項

公益財団法人野口研究所  
野口遵研究助成金事務局

## 1 助成の趣旨

独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究を助成します。募集課題分野で、産業応用までには課題も多く短期的な産業有用性が見えにくいものであっても、ロジックがしっかりしていて、実現できた場合の学術性や発展性が強く期待されるものの孵化をお手伝いすることが狙いです。女性研究者や異動・着任したばかりの研究者の積極的な応募を期待します。

## 2 募集課題

課題1

### エネルギー・資源・環境・エレクトロニクスの革新に寄与する新材料や新プロセスに関する研究

持続可能な地球環境・人類社会を実現するためのカーボンニュートラル推進、省・創エネルギー、再生可能エネルギー利用、およびエコシステムのための新素材開発、新プロセス開発、新分析・解析法および電子材料や電子デバイスの開発など

課題2

### ライフサイエンスの進展に寄与する研究

疾患バイオロジーの探究、健康・医療に関する技術開発(医薬、診断、医用材料、医療機器など)、微生物・動植物を含めた生物機能解明、それを利用した産業応用に関する研究など

### 選考委員長からのメッセージ

本助成制度は、その趣旨に書かれているように「独創的かつチャレンジングな若手研究者の独立した研究」を助成している。世の中の研究資金が、見通しのある短期的な実用化研究に傾きがちであり、研究者が自発的・内発的なブレークスルーに挑戦する基礎研究のすそ野がなくなることが危惧されている。このような環境の中で、本助成を通して、将来性ある若手研究者が魅力的・挑戦的な研究を孵化、発展することを支援したい。また、将来性ある女性研究者の研究環境支援を進めたく、女性研究者の積極的な応募を期待する。

## 3 応募要件

- ① 常勤、非常勤を問わず国内の大学・大学共同利用機関および高等専門学校に勤務する研究者。
- ② 39歳以下(1984年11月1日以降に出生)であること。
- ③ 応募に当たり所属長の推薦を受けられること。

## 4 研究助成額および採択件数

1件につき原則220万円を贈呈し、所属研究機関へ奨学寄附金として支払います。

研究者が研究に関する経費として使用するのであれば使途は限定しません。

管理費(オーバーヘッド)に関しては、当事務局より所属機関に免除のお願いをします。

採択件数は10~15件です。

## 5 募集期間

2024年9月2日(月)9:00~2024年10月31日(木) 正午

## 6 応募手続き

- ・ 応募に必要な書類の様式は、野口研究所ウェブサイト応募ページ(下記URL)からダウンロードしてください。
- ・ 応募手続きは応募ページからのみ受け付けます。
- ・ 当該ページでID登録をして手続きを進めてください。
- ・ 応募課題(課題1/課題2)を選択し、キーワード表からは研究テーマに関係する2~5個のキーワードを選択してください。
- ・ 研究テーマ名はサブタイトルも含め全角40文字以内としてください。
- ・ 研究助成金申請書を作成した後に所属長の推薦を受けてください。学部長、研究科長などの相当職の自筆署名または公印押印をお願いします。
- ・ 研究助成金申請書および添付書類はPDFファイル形式(各5MB未満)にてアップロードしてください(押印した原紙を提出して頂く必要はありません)。
- ・ 募集期間中は応募ページにログインすることで何度でも修正、提出書類の差し替えが可能です。締め切り後の修正は一切受け付けません。

【提出書類】

① 研究助成金申請書

② 添付書類

- ① 本研究分野の研究状況および申請者のこれまでの研究経歴
- ② 本研究の目的および趣旨
- ③ 研究計画の概要(図表なども含め2枚以内)
- ④ 実質的に同一テーマでの他の助成機関への申請状況
- ⑤ 申請者の学歴および職歴
- ⑥ 申請者の研究業績
- ⑦ 代表的な論文1報(審査参考論文)

## 7 選考方法および選考結果の通知

2025年2月上旬に学識経験者による選考委員会を開催して選考します。選考は研究の独創性、実現できた時の学術性・発展性、ゴールまでのロジックの観点から行います。選考結果は2月中旬にメールにて通知します。

## 8 助成金贈呈式および助成金贈呈時期

2025年3月5日(水)開催の贈呈式にご出席願います。助成金は2025年4月末日に一括振込予定です。

## 9 助成期間および成果の報告・発表

- ① 助成期間は2025年4月~2026年3月です。
- ② 助成期間終了後、2026年12月18日(金)までに研究成果報告書(A4用紙4枚以内)および要旨(150字から200字)を提出いただきます。研究成果報告書は野口研究所の刊行物、ウェブサイトなどで一般に公開することがあります。なお、成果の知的財産権について野口研究所は関与いたしません。

## 10 その他

- ① 応募された個人情報法に則り適切に取り扱います。提出された助成金申請書は選考審査のみに使用します。なお、採択者の氏名、所属、職位および研究テーマ名は野口研究所ウェブサイトなどで公開します。
- ② 採否決定理由に関する問い合わせには一切応じられません。
- ③ 採択者には、野口研究所時報への執筆および研究助成金贈呈式に先立つ講演会でのご講演をお願いする場合があります。

## 11 野口遵賞

野口遵研究助成採択者のさらなる研究の後押しを図るべく、採択後一定期間のうちに顕著な功績があり、かつ、継続的な研究発展の期待される高いポテンシャルをもつ研究者2名に野口遵賞を贈呈します。副賞として各400万円を奨学寄付金として大学等所属研究機関へ支給いたします。

2024年度は、2020年度および2021年度の研究助成採択者の中から選考いたします。

なお、今年度の野口遵研究助成採択者が本賞の選考対象となるのは2027年度および2028年度です。

対象の年度になりましたら募集のご案内を差し上げますので、採択後に異動された場合は必ず野口遵研究助成金事務局までご連絡ください。

応募は野口研究所ウェブサイトの応募ページからのみ受け付けます。当該ページでID登録をおこない手続きを進めてください。詳細は上記の野口遵研究助成金と同様です。受賞者は研究助成金贈呈式にご出席いただき、その席にて受賞テーマについて20分程度のご講演をお願いしております。

## 12 研究助成金申請書問い合わせ先

〒173-0003 東京都板橋区加賀1丁目9番7号

公益財団法人野口研究所 野口遵研究助成金 事務局

TEL 03-3961-3255 e-mail josei@noguchi.or.jp URL [https://noguchi.or.jp/human\\_resource/subsidy\\_award/](https://noguchi.or.jp/human_resource/subsidy_award/)

野口遵研究助成金および野口遵賞募集ページは、募集開始日時からアクセス可能となります。

助成金応募要項または野口遵賞応募要項のFAQをご一読のうえ、事務局までお問い合わせください。

